

## マダニに気をつけましょう！

マダニの咬傷が感染原因と推定される「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」の3例目が確認されました。

- 1 患者：県内に住む60歳代女性
- 2 主な症状：発熱、血小板減少、白血球減少、肝機能低下、意識障害
- 3 感染原因（推定）：マダニの咬傷

### 【予防策】

- ①ダニに咬まれないことが重要です。
- ②草むらや藪など、ダニの生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し肌の露出を少なくすることが大事です。
- ③屋外活動後には、ダニに刺されていないか確認して下さい。
- ④吸血中のダニに気づいた際には、できるだけ医療機関で処置して下さい。
- ⑤ダニに咬まれた後に、発熱等の症状があった場合は、医療機関で処置して下さい。

これから行楽シーズンになり、山へ入ることも増えてくるので、上記、予防策について特に注意して下さい。

### マダニとは

固い外皮に覆われた比較的大型(吸血前3~4mm)のダニで、主に森林や草地等の屋外に生息し、全国的に分布している。春から秋にかけて活動的になる。

食品等に発生するコナダニや衣服や寝具に発生するヒョウヒダニ等の家庭内に生息するダニとは種類が異なる。

### <詳細な情報は>

検索エンジン(ヤフー、グーグル等)により、山口県感染症情報センターのホームページを検索し、「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」及び「ダニ媒介性疾患の予防について」を参照して下さい。(ダニの写真も掲載されています。)